

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	長塚節生家運営管理経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	5	目	8	事業	1
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	文化	係	作成者	宮本 欣英	内線(電話番号)	8430	シート作成日	H30.10.15	部長決裁日	H30.10.24		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市文化財保護計画)															

2 事務事業の目的 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	長塚節生家は昭和30年6月25日に茨城県指定史跡に指定され、所有者のご厚意で所有者、案内人が対応する形でこれまでほぼ休みなしで公開をしてきたところである。旧石下町では生家前の敷地を借り受け、案内所及び観光トイレを整備して見学者の対応をとってきており、常総市合併後もその方針を踏襲して現在に至っている。案内人には長塚節に精通した地域住民を配置して対応していたところであるが、高齢化にともない案内人が減少したため開館日がこれまでと変わり、土・日・月曜日の案内となっている。	誰・何を対象に	市内外の来館者	望ましい状態	来館者が常に史跡全体を見学でき、係員による適切な案内が常時できる状況になっていることが望ましい。
どのような方法・手順で	所有者の協力のもと、史跡の一部を公開する				

3 事務事業の主たる成果指標 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	長塚節の生家来館者数	単位	人	目標値	1,000	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	個人所有の文化財ではあるが、公開をしていることから来館者数を成果指標とした。目標値については、開館日数や見学可能場所が制限されていることから近年の来館者数を考慮して設定した。
-----	------------	----	---	-----	-------	------	----------	-------------------------------------	---

4 事務事業の実績 ㊦ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度					
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量				
事務事業を構成する主な業務	① 来館者の受付・案内	182日	① 来館者の受付・案内	133日	① 来館者の受付・案内	159日				
	② 案内所及び駐車場敷地の借り上げ	1カ所	② 案内所及び駐車場敷地の借り上げ	1カ所	② 案内所及び駐車場敷地の借り上げ	1カ所				
	③		③		③					
	④		④		④					
	⑤		⑤		⑤					
	⑥		⑥		⑥					
	⑦		⑦		⑦					
	⑧		⑧		⑧					
	⑨		⑨		⑨					
	⑩		⑩		⑩					
	⑪		⑪		⑪					
	⑫		⑫		⑫					
目標値に対する実績値		750 人	目標値に対する実績値		821 人	目標値に対する実績値		949 人		
決算額	計	2,340,997 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 2,340,997 円	計	2,225,608 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 2,225,608 円
	(住民一人あたりの行政コスト)		38 円	(住民一人あたりの行政コスト)		33 円	(住民一人あたりの行政コスト)		37 円	

5 担当者評価 ㊧ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	27年度の来館者数から立ち直りを見せ、ここ2年は増加を続けて目標値近くまで回復している。来館者は市外の方が多く、節のふるさと常総の文化を発信できていると考える。
問題点	個人所有の史跡(住宅)をご厚意で公開させてもらっていることから、来館者への対応にも一部制限がかかっている。案内人の高齢化にともない、開館日を土・日・月曜日に限定しており、遠方の見学希望者が来館を断念したり、来館したが見学できないといったケースも見られる。		

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

修理の必要箇所も予算的には拡充したいところではあるが、財政的な面も考慮し現行どおりと評価する。

7 実施計画 ㊩ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業内容	・来館者の受付・案内 臨時職員1名で対応しており、土・日・月曜日のみ開館 職員の高齢化が進んでおり、今後の人材確保が必要 ・案内所及び駐車場敷地の借り上げ 案内所及び駐車場(観光トイレあり)を借地して供用		・来館者の受付・案内 臨時職員1名で対応しており、土・日・月曜日のみ開館 職員の高齢化が進んでおり、今後の人材確保が必要 ・案内所及び駐車場敷地の借り上げ 案内所及び駐車場(観光トイレあり)を借地して供用		・来館者の受付・案内 臨時職員1名で対応しており、土・日・月曜日のみ開館 職員の高齢化が進んでおり、今後の人材確保が必要 ・案内所及び駐車場敷地の借り上げ 案内所及び駐車場(観光トイレあり)を借地して供用	
予算額	歳出	計	2,375 千円	歳出	計	2,375 千円
	歳入	特定財源	0 千円	特定財源	0 千円	
		一般財源	2,375 千円	一般財源	2,375 千円	
		計	2,375 千円	計	2,375 千円	

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。常総市の名所、旧跡であり、今後も大いに利用者が増えることを期待する。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

個人所有の文化財であることから、現行どおりの管理を継続する。

11 事務事業の改善理由 ㊫ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

個人による所有は厳しい状況になってきているが、当面は現行の管理体制を維持していく。